

第 42 回 東日本トランポリン競技選手権大会

監督会議 伝達事項

平成 30 年 9 月 7 日 19:20～

群馬県前橋市 ヤマト市民体育館

① 本大会役員のご紹介

大会会長 : 伊藤直樹 (本会会長)
主管団体 : 寺門洋子 (群馬県協会理事長)
競技委員長 : 武藤真也 (本会競技部長)
審判長 : 佐久間洋 上級審判員 : 平松朋法

② 棄権・スタートリストの変更、誤字訂正に関して

事前に配布している「訂正届」によって訂正を行いますので受付までご提出ください。

③ 開会式について

9月8日 9:15より開始

各団体の代表者1～2名(旗などの関係上人数を調整願います)がアリーナへ整列。

その他の参加者は選手席で参加となります。

④ ルール上、大会進行の諸注意

1) 進行方法

予選 : 男女ともに単独進行 サブホールでのアップの後、メインホールで審判席前に整列、ワンタッチアップの後試技。終了後は解散となります。

ラウンドの開始・終了時間は合わせます。

また、演技に支障があるような場合には配慮します

決勝 : 男女ともに交互進行 サブホールでのアップの後、メインホールで審判席前に整列、選手紹介ののち、ワンタッチアップの後試技

ワンタッチアップは規則通り、選手が台に乗り、跳躍を開始してから跳躍を終了するまでの時間にて30秒計測を行います。

2) 審判員の配置

個人競技 : Cクラスにおいては、主審がD1審判員を兼ね、D審判2名、E審判6名(うち2名はH審判)にて実施いたします。

B・Aクラスにおいては通常通りの配置といたします。

シンクロ競技 : 各クラスともに通常通りの配置といたします。

3) 時間について

進行が早まっても、予定通りに進行いたします。

4) 選手コール

難度審判員（D1・D2）が行います。

5) 跳躍時間・同時性測定機不具合時の対応

国際体操連盟認定の映像解析ソフト V-Timer で計測を行います。

6) 難度点の問い合わせ、および速報誤表記の問い合わせ等

難度点問い合わせはラウンド時間内もしくは終了後直ちに主審まで問い合わせ願います。

速報誤表記は発見次第、記録主任もしくは審判長、競技委員長まで問い合わせ願います。

7) タイブレイクについて

本大会のタイブレイクは下記のとおりで行います。

2018年1月の国際競技規則改定に伴い、決勝でもタイブレイクを行います。

個人予選 Cクラス : 合計得点と同点の場合は有効演技点の高い選手が上位
有効演技点も同点の場合は同順位とします。

上記以外の競技 : 採点規則のとおり

⑤ 競技中の撮影について

写真撮影は禁止（マスコミを除く）。

映像撮影は撮影許可証を撮影機器にわかるように掲示の上、撮影エリアで行ってください

⑥ 大会会場使用上の注意

- ・ アリーナ内での飲食は水分補給のみ、食事は観覧席で行ってください。
- ・ ごみ等は持ち帰りをお願いします。
- ・ 喫煙も所定の喫煙場所をお願いします。

⑦ その他

必要事項ならびに質疑がございましたら監督会議当日に伝達・お伺いいたします。